

設置計画の概要

事項	記入欄																																																					
事前相談事項	事前伺い																																																					
計画の区分	研究科の専攻の設置																																																					
フリガナ	コリツカ ^リ イ ^カ ホシ ^ン カ ^ワ イ ^カ																																																					
設置者	国立大学法人 香川大学																																																					
フリガナ	カ ^ワ イ ^カ																																																					
大学の名称	香川大学 (Kagawa University)																																																					
新設学部等において養成する人材像	<p>【医学専攻】</p> <p>①医学に関する幅広い高度な専門知識および地域社会が求める高度な医療技能を身につけている人材 ②独創的な研究を遂行するために幅広い学術研究領域からの情報を自ら収集・分析し、適切に活用・情報発信できる人材 ③豊かな人間性に基づく倫理観を有し、独創的な研究者および高度な医療人として社会貢献を行うことができる人材 ④グローバル化を意識し、自己の専門分野をもって社会をリードし、医学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、研鑽を積むことができる人材</p> <p>更に、1専攻2コースのコース毎に下記の人材育成を目指す。 『基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース』 医学の領域において、自立して独創的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備える基礎研究者、基礎的な研究シーズを臨床に応用する橋渡し研究者及び臨床研究を主体的に行う高い臨床能力と高度な専門知識を有する臨床研究者を育成する。 『高度医療人育成コース』 地域特有の疾患に対応し、最新の幅広い医学の知識を学び、高度な専門性と優れた研究能力を修得した地域臨床医・メディカルスタッフ及びがん診療についての高度な技術と知識を持つのみならず、チームとしてがん診療を行うことができる専門職医療人を育成する。</p>																																																					
既設学部等において養成する人材像	<p>①医学に関する幅広い高度な専門知識と技能を身につけている人材 ②情報収集・活用力幅広い学術、研究領域の情報を自ら収集・分析し、適切に活用・情報発信できる人材 ③豊かな人間性に基づく倫理観を有し、社会貢献を行うことができる人材 ④国際感覚を有し、自己の専門分野をもって社会をリードし、医学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、研鑽を積むことができる人材</p>																																																					
新設学部等において取得可能な資格	_____																																																					
既設学部等において取得可能な資格	_____																																																					
新設学部等の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">新設学部等の名称</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">修業年限</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">入学定員</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">編入学定員</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">収容定員</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">授与する学位等</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">開設時期</th> <th colspan="3" style="width: 25%;">専任教員</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">学位又は称号</th> <th style="width: 10%;">学位又は学科の分野</th> <th style="width: 10%;">異動元</th> <th style="width: 5%;">助教以上</th> <th style="width: 5%;">うち教授</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">医学系研究科 [Graduate School of Medicine] 医学専攻 [Medical Science]</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">4</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">30</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">120</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">博士(医学)</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">医学関係</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">平成28年 4月</td> <td style="text-align: center;">機能構築医学専攻</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">分子情報制御医学専攻</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">社会環境病態医学専攻</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">82</td> <td style="text-align: center;">44</td> </tr> </tbody> </table>	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員			学位又は称号	学位又は学科の分野	異動元	助教以上	うち教授	医学系研究科 [Graduate School of Medicine] 医学専攻 [Medical Science]	4	30	-	120	博士(医学)	医学関係	平成28年 4月	機能構築医学専攻	25	14	分子情報制御医学専攻	48	24	社会環境病態医学専攻	9	6	計	82	44																	
	新設学部等の名称						修業年限	入学定員		編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員																																							
		学位又は称号	学位又は学科の分野	異動元	助教以上	うち教授																																																
	医学系研究科 [Graduate School of Medicine] 医学専攻 [Medical Science]	4	30	-	120	博士(医学)	医学関係	平成28年 4月	機能構築医学専攻	25	14																																											
分子情報制御医学専攻									48	24																																												
社会環境病態医学専攻									9	6																																												
計									82	44																																												
既設学部等の概要	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 15%;">既設学部等の名称</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">修業年限</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">入学定員</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">編入学定員</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">収容定員</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">授与する学位等</th> <th rowspan="2" style="width: 5%;">開設時期</th> <th colspan="3" style="width: 25%;">専任教員</th> </tr> <tr> <th style="width: 10%;">学位又は称号</th> <th style="width: 10%;">学位又は学科の分野</th> <th style="width: 10%;">異動先</th> <th style="width: 5%;">助教以上</th> <th style="width: 5%;">うち教授</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">機能構築医学専攻(廃止)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">4</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">8</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">32</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">博士(医学)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">医学関係</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">平成16年 4月</td> <td style="text-align: center;">医学専攻</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">14</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">分子情報制御医学専攻(廃止)</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">医学系研究科</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">4</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">18</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">72</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">博士(医学)</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">医学関係</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">平成16年 4月</td> <td style="text-align: center;">医学専攻</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">24</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">社会環境病態医学専攻(廃止)</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> </tbody> </table>	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員			学位又は称号	学位又は学科の分野	異動先	助教以上	うち教授	機能構築医学専攻(廃止)	4	8	-	32	博士(医学)	医学関係	平成16年 4月	医学専攻	25	14	計	25	14	分子情報制御医学専攻(廃止)	48	24	医学系研究科	4	18	-	72	博士(医学)	医学関係	平成16年 4月	医学専攻	48	24	計	48	24	社会環境病態医学専攻(廃止)	9	6	計	9	6
	既設学部等の名称						修業年限	入学定員		編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員																																							
		学位又は称号	学位又は学科の分野	異動先	助教以上	うち教授																																																
	機能構築医学専攻(廃止)	4	8	-	32	博士(医学)	医学関係	平成16年 4月	医学専攻	25	14																																											
									計	25	14																																											
									分子情報制御医学専攻(廃止)	48	24																																											
医学系研究科	4	18	-	72	博士(医学)	医学関係	平成16年 4月	医学専攻	48	24																																												
								計	48	24																																												
								社会環境病態医学専攻(廃止)	9	6																																												
計	9	6																																																				

【備考欄】
 在職のままに就学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第14条による「教育方法の特例」を適用し、「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法による」教育を取り入れる。

教育課程等の概要(事前伺い)

(医学系研究科)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医科学概論	1前	2			○	○		11	3					オムニバス
	医科学特論	1前	2			○	○	○	17	9					オムニバス
	希少糖科学特論	1後	1			○	○		2	1					オムニバス
	研究・生命倫理	1前	1			○	○		2						オムニバス
	小計(4科目)	—	6	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専門科目 基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	ライフサイエンス科目群														
	希少糖の機能	1・2通	4			○	○		1	1					副科目で選択した場合は2年次・3年次で履修可
	発達神経科学	1・2通	4			○	○		2	1					
	分子形態学特論	1・2通	2			○	○		1	1					
	組織細胞科学特論	1・2通	4			○	○		1	1					
	神経細胞生物学特論	1・2通	4			○	○		1	1					
	神経生理学	1・2通	4			○	○		1	1					
	呼吸循環生理学	1・2通	4			○	○		1	1					
	循環生理シグナル伝達学	1・2通	4			○	○		1	1					
	薬理学特論	1・2通	4			○	○		1	1					
	脂質生物学	1・2通	4			○	○		1	1					
	酵素学実験法	1・2通	4			○	○		1	1					
	医用有機化学特論	1通	4			○	○		1						
	医用分析化学特論	2通	4			○	○		1						
	分子内分泌学	1・2通	4			○	○		1	1					
	核医学画像解析	1・2通	2			○	○			1					
	毒性病理学	1・2通	2			○	○		1	1					
	分子神経病理学	1・2通	4			○	○		2		1				
	免疫組織化学	1・2通	4			○	○		1		1				
	免疫制御学	1・2通	4			○	○		1						
	寄生虫学特論	1・2通	2			○	○			1					
	衛生動物学特論	1・2通	2			○	○			1					
	微生物ゲノム科学	1・2通	2			○	○		1						
	生活習慣病予防論	1・2通	2			○	○			1					
	臨床疫学	1前	1			○	○		1		1				
	生物統計学	1前	1			○	○		1		1				
	医療管理学	1後	1			○	○		1		1				
	健康危機管理論	2前	1			○	○		1		1				
	国際保健論	2後	1			○	○		1		1				
	法医学特論	1・2通	2			○	○		1						
	医学教育学特論	1・2通	2			○	○		1	1					
	遺伝情報解析学	1・2通	4			○	○		1	1					
	疾患ゲノム情報学	1・2通	4			○	○		1	1					
	生体分子立体構造学	1・2通	2			○	○		1	1					
	実験動物学・動物遺伝学	1・2通	2			○	○			1					
糖鎖構造解析	1・2通	2			○	○			1						
小計(35科目)	—	0	101	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
専門科目 トランスレーショナルリサーチ科目群	希少糖と生活習慣病	1・2通	2			○	○		1	1				副科目で選択した場合は2年次・3年次で履修可	
	バイオイメーキング技術の開発・応用	1通	2			○	○		1	1					
	中耳・内耳バイオイメーキング	2通	2			○	○		1	1					
	形成外科におけるバイオイメーキング	2通	2			○	○		1	1					
	細胞シグナル伝達学に基づくトランスレーショナルリサーチ	1・2通	4			○	○		1	1					
	生活習慣病診断・治療の前臨床開発	1・2通	4			○	○		1	1					
	iPS細胞の応用	1・2通	2			○	○		1	1					
	糖鎖情報と臨床応用	1・2通	4			○	○		1	1					
	発がん機構	1・2通	2			○	○		1	1					
	免疫機能を調整する薬剤の開発	1・2通	4			○	○		1						
	微生物共生システムと応用	1・2通	2			○	○		1						
	健康測定・アセスメント	1・2通	2			○	○			1					
	医療経済・テクノロジーアセスメント	1前	1			○	○		1		1				
	医療政策論	1後	1			○	○		1		1				
	死因究明技術の開発	1・2通	2			○	○		1						
	タンパク質分子設計	1・2通	2			○	○		1	1					
	精神神経疾患の創薬科学	1・2通	4			○	○		1	1					
	臨床アウトカムとしてのQOL評価の応用	1前	1			○	○		1						
	臨床アウトカムとしての画像解析システム	1後	1			○	○		1						
	睡眠(終夜脳波システム)の臨床開発	1・2通	4			○	○		1	1	1				
	認知症診断の技術研究	1・2通	4			○	○		1	1	1				
脂質異常症と心血管病	1・2通	4			○	○		1	1						
食塩感受性高血圧モデルの臨床応用	1・2通	2			○	○		1	1						
周産期の脳発達と子供の健康	1通	4			○	○		2							
高速液体クロマトグラフィーの臨床応用	2通	2			○	○		1	1						
近赤外線分光法を用いた臨床研究	2通	2			○	○		1	1						
骨軟部腫瘍研究の臨床応用	1・2通	4			○	○		1	1						

基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	トランスレーショナルリサーチ	前立腺がんの新規マーカーの開発	1通	2		○	○		1					副科目で選択した場合 は2年次・3年次で履修可		
		低侵襲手術術式の開発	2通	2		○	○		1							
		癌とマイクロRNA	1通	2		○	○		1	1						
		癌と遺伝子異常	2通	2		○	○		1	1						
		分子イメージングの臨床応用	1・2通	4		○	○		1	1						
		動脈硬化症への遺伝子治療	1・2通	4		○	○		1	1						
		病理診断学の臨床応用	1・2通	4		○	○		1	1						
		神経保護薬の臨床開発	1・2通	4		○	○		1	1						
		医工融合による医療機器開発	1・2通	1		○	○		1	1						
		救急・生体侵襲制御	1・2通	2		○	○		1							
		小計 (37科目)	—	0	97	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
専門科目	臨床医・メデイカルスタッフ養成科目群	希少糖医学	1前	1		○	○		1					副科目で選択した場合は 2年次・3年次で履修可		
		地域医療学	1後	1		○	○			1						
		高齢者医療学	1前	1		○	○			1						
		医療倫理	1前	1		○	○		2							
		生活習慣病学	1後	1		○	○		1							
		災害医療・災害医学	1後	1		○	○		1							
		神経病学	1・2通	2		○	○		1	2						
		脳神経外科学	1・2通	2		○	○		1	1						
		運動器病学	1・2通	2		○	○		1	1						
		精神病学	1・2通	4		○	○		1	1						
		腎・泌尿器病学	1・2通	4		○	○		2	1						
		感染症学	1・2通	2		○	○		1							
		血液病学 (血液・造血器・リンパ)	1・2通	2		○	○		2							
		免疫・アレルギー疾患学	1・2通	2		○	○		1							
		呼吸器病学	1・2通	4		○	○		2		1					
		乳腺内分泌外科学	1・2通	2		○	○			1						
		消化器病学	1・2通	2		○	○		2	1						
		循環器病学	1・2通	2		○	○		2	2						
		母子周産期医学	1・2通	2		○	○		1	1						
		皮膚病学	1・2通	2		○	○		1							
		眼病学	1・2通	2		○	○		1	1						
		口腔病学	1・2通	2		○	○		1	1						
		頭頸部病学	1通	2		○	○		1	1						
		耳鼻咽喉疾患学	2通	2		○	○		1	1						
		放射線医学	1・2通	2		○	○		1	1						
		痛み学	1通	2		○	○		1							
		呼吸循環制御学	2通	2		○	○		1							
		小児科学	1・2通	2		○	○		1	1						
		内分泌代謝学	1通	2		○	○		1	1						
		糖尿病学	2通	2		○	○		1	1						
		救急救命医学	1・2通	2		○	○		1							
		形態機能学	1・2通	2		○	○		1	1						
		薬学	1・2通	2		○	○		1							
		小計 (33科目)	—	0	66	0	—	—	—	—	—	—	—	—		
がんプロフェッショナル養成科目群	共通コアカリキュラム	研究方法論応用	がん疫学論						3					オムニバス		
			臨床研究論	1前	1		○		2							
			医療統計学							1						
		検査、診断法概論	管悪性腫瘍治療の							1	2	1				オムニバス
			治療法概論							5	1	1				
			治療合併症、支持療法、緩和治療	1後	1		○			1	1	3				
			老年腫瘍学							1						
		がんの心理社会的側面	がんの心理社会的側面									1	1			
			医療倫理学・医療経済学	1・2通	0.5		○			4						オムニバス
			医療対話学	1・2通	0.5		○			2	1	1				
		がんチーム医療実習	1・2通	0.5				○								
		医療情報学(腫瘍学における情報システム)	1・2通	0.5		○			2		1					
		がん専門共通科目	がんのベーシックサイエンス、臨床薬理学	2通	1		○			3		1				
臨床検査、病理、放射線診断学	2通		0.5		○			1	2	1						
臓器別がん治療各論	2通		2		○			7	8	3						
放射線治療法	2通		1		○			1								
がん専門選択科目	がん緩和治療	2通	0.5		○			3	4	3						
	臨床腫瘍学	2・3通	2		○	○		1								
		放射線腫瘍学	2・3通	2		○	○	1								
		小計 (13科目)	—	0	13	0	—	—	—	—	—	—	—			
課題研究			3・4通	8	0	0		○	○							
合計 (123科目)			—	14	277	0	—	—	44	35	3			—		
学位又は称号	博士 (医学)	学位又は学科の分野				医学関係										

I 設置の趣旨・必要性

(1) 改組の背景

本研究科博士課程は、医学・生命科学の領域において、研究者として自立して独創的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識を備えるとともに、生命の尊厳を深く思索する研究者を育成し、もって医学の進歩や社会福祉向上に資することを目的としている。

近年の医学・生命科学における新しい学問領域の著明な発展・進歩は、従来の医学研究の枠組みを大きく変貌させており、探索医療、展開医療などの言葉に表されるように、医学・生命科学の研究成果が直接、医療現場に反映される時代を迎えている。そこで革新的な研究開発を行う研究者（基礎研究者）、その基礎的なシーズを臨床応用へ導入する研究者（橋渡し研究者）及び臨床研究の主導者（臨床研究者）の育成が急務となっている。

我が国の医学医療を巡る厳しい社会情勢のもとで、香川県唯一の医育機関である香川大学医学部が地域の中核的な医学系教育・研究機関としての役割を担い続けるためには、高い臨床能力に加えて、高度な専門性を有する研究者の養成が強く求められており、これを担保する大学院教育の改革が緊急の課題となっている。

更に、香川県においては、医療機関の機能の細分化や、医師の地域的な偏在が顕著になってきていることから、地域特有の疾病である生活習慣病（糖尿病）やがん診療など、多くの専門領域にまたがる医療を指導する高度医療人、がん専門医療人の育成が求められている。

(2) 改組の必要性

これまで本研究科博士課程は、「機能構築医学」、「分子情報制御医学」及び「社会環境病態医学」の3専攻において、希少糖研究、iPS細胞を使用したエリスロポエチン産生細胞の樹立の研究及び医療ICTを用いた遠隔医療研究などにより、本学の特色ある教育・研究の活性化に貢献してきた。

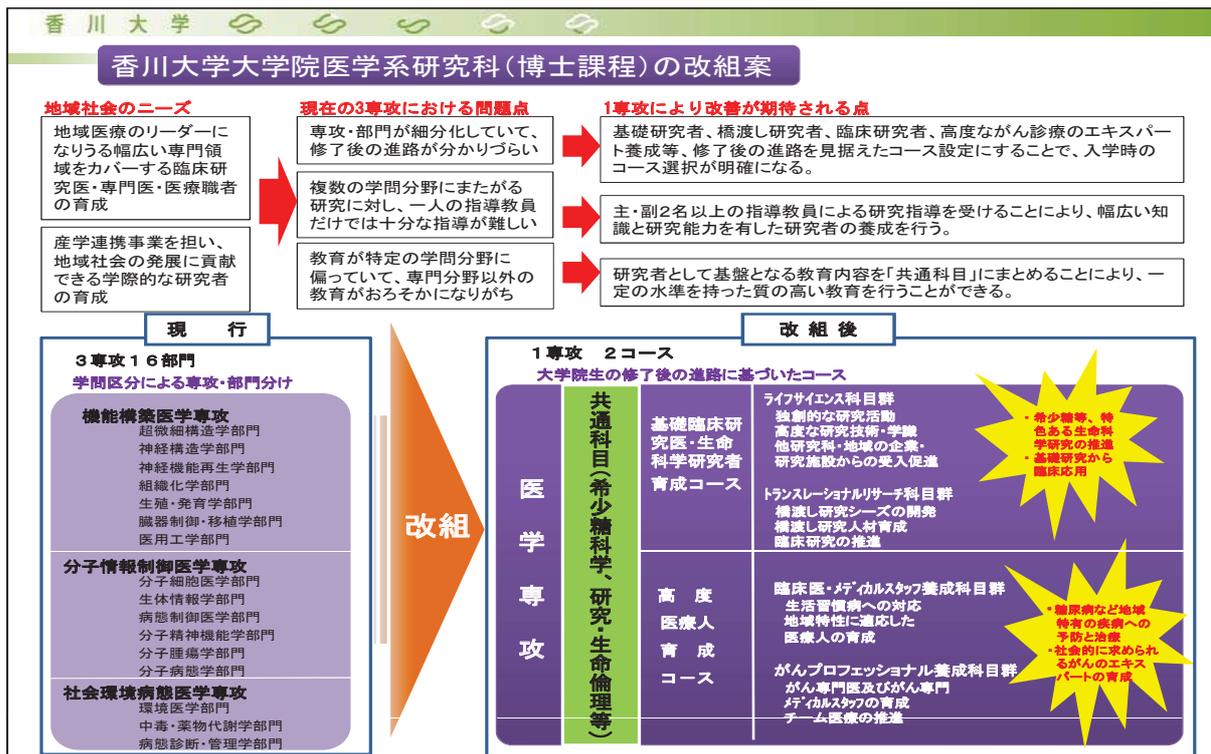
最近、がん、生活習慣病など多くの専門領域にまたがる疾患が増加し、これら地域特有な疾患の診療を指導できる広い学際的知識と高度な技術を持った医学研究者・医療人の育成が強く求められている。一方、香川大学のミッションの一つである希少糖研究については、他学部との共同研究（医農連携、医工連携）、産学官連携研究、香川県の産業成長戦略へと研究の裾野が広がっている。また、地域社会からのニーズとして、希少糖等、特色ある生命科学研究、橋渡し研究、臨床研究を推進できる人材が要望されている。

これらのニーズ等に応えるための本学の役割として、独創的な研究活動を行う基礎研究者、グローバルな希少糖研究やiPS細胞を用いた橋渡し研究者、臨床研究を推進できる高いリサーチマインドを持った臨床研究者、地域特有の疾患である生活習慣病やがん診療などを指導する高度臨床医の育成があげられる。

また、昨今の臨床研究の倫理問題に対応するために、本研究科博士課程全ての学生に、研究者として基盤となる研究・生命倫理、基礎研究ストラテジー、英語論文作成、統計学などを一定の基準以上に修得させる必要がある。

そこで、各研究領域を横断した総合的な教育・研究体制に編成し、地域の要請に応えるとともに、全学生に共通して必要な基盤的研究能力を持つ人材育成にも対応できるように、現在3つある専攻を1つの「医学専攻」にし、ミッションの再定義に基づいた特色ある研究を生かし、大学院修了後の進路を見据えた2つのコース（『基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース』、『高度医療人育成コース』）を設けることとした。更に1専攻内において、研究指導体制を主・副指導教員制にすることで学問区分に囚われず社会的なニーズに応える幅広い専門領域をカバーできる研究者等を養成することができる。また、共通の理念構築のための講義及び演習を、より効果的・効率的に実施することができる。具体的には、必須科目として共通科目を設け、倫理・研究方法・論文作成の基礎教育及び香川大学独自の希少糖科学を予定している。

養成する人材像に対応したコース/科目を設定することで、より多方面からの本研究科博士課程進学希望者が期待でき、産学連携事業に繋がる研究の活性化や地域社会が必要とする幅広い知識と研究能力を有した基礎研究者の養成に寄与することが可能となる。



(3) 養成する人材像

改組後の本研究科では、「医学専攻」として、以下の能力を有する人材の養成を行う。

- ① 医学に関する幅広い高度な専門知識および地域社会が求める高度な医療技能を身につけている人材
- ② 独創的な研究を遂行するために幅広い学術研究領域からの情報を自ら収集・分析し、適切に活用・情報発信できる人材
- ③ 豊かな人間性に基づく倫理観を有し、独創的な研究者および高度な医療人として社会貢献を行うことができる人材
- ④ グローバル化を意識し、自己の専門分野をもって社会をリードし、医学の発展に寄与する高い学習意欲を持ち、研鑽を積むことができる人材

更に、1専攻2コースのコース毎に下記の人材育成を目指す。

『基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース』

医学の領域において、自立して独創的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備える基礎研究者、基礎的な研究シーズを臨床に応用する橋渡し研究者及び臨床研究を主体的に行う高い臨床能力と高度な専門知識を有する臨床研究者を育成する。

『高度医療人育成コース』

地域特有の疾患に対応し、最新の幅広い医学の知識を学び、高度な専門知識と優れた研究能力を修得した地域臨床医・メディカルスタッフ及びがん診療についての高度な技術と知識を持つのみならず、チームとしてがん診療を行うことができる専門職医療人を育成する。

II 教育課程編成の考え方・特色

(1) 入学定員等

- ① 現行博士課程3専攻（「機能構築医学専攻」定員8人、「分子情報制御医学専攻」定員18人、「社会環境病態医学専攻」定員4人、入学定員計30人）を1専攻（「医学専攻」入学定員30人）に改める。
- ② ただし、1専攻に2コースを設け、学生は、基礎研究者、橋渡し研究者及び臨床研究者を育成する『基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース』と、地域特性に適応した医療人、がん診療の主体となる医療人を育成する『高度医療人育成コース』のいずれかのコースに所属するものとする。

(2) 課程編成の考え方

本研究科では、従来の学問研究分野ごとに設けた3専攻を1専攻に集約し、高度な研究能力を備えた基礎研究者、基礎研究と臨床の現場を結びつける橋渡し研究者及び臨床研究を計画遂行する臨床研究者を育成する『基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース』と、専門性の高い診断・治療技術に裏打ちされた高度なリサーチマインドをもった医療人及びがん診療のプロフェッショナルの育成を目指す『高度医療人育成コース』を新たに設ける。

両コースには、必修の共通科目として、「医科学概論」、「医科学特論」、「研究・生命倫理」のほか、本学の特色である「希少糖科学特論」を設ける。

また、専門科目については、深い専門性と幅広い知識を身に付けるため、大学院修了後の進路や専門性に基づく4つの科目群を設ける。

『基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース』には、医学の領域において、自立して独創的な研究活動を行うに必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備える人材を目指す学生のために「ライフサイエンス科目群」を、基礎的な研究シーズを臨床に応用する橋渡し研究者を目指す学生のために「トランスレーショナルリサーチ科目群」を設ける。

『高度医療人育成コース』には、地域特有の疾患に対応し、最新の幅広い医学の知識を学び、高度な専門性とリサーチマインドを有する医療人や専門医取得を目指す学生のために「臨床医・メディカルスタッフ養成科目群」を、地域に求められる高度な技術と知識を持ったがん専門医とチームとしてがん診療を行うことができる専門職医療人を目指す学生のために「がんプロフェッショナル養成科目群」を設ける。

(3) 履修指導及び研究指導体制

主・副2名以上からなる指導教員が、履修指導及び研究指導を行う。

基礎研究者と臨床研究者の交流促進、基礎医学研究者の増加、他分野からの学生の受け入れ増を図るため、主・副指導教員のうち少なくとも1名は、ライフサイエンス科目群担当教員(他研究科教員を含む)とする。

○主指導教員及びコース

入学志願者が、自身の希望する研究内容により、主指導教員及びコースを決定する。

主となる科目群は、入学後に主指導教員と相談のうえ決定する。

○副指導教員

1年次修了の際に、研究テーマの内容により、主指導教員と相談のうえ副指導教員を決定する。

(4) 教育方法

広い視野に立って、自立して研究活動を推進するのに必要な基礎となる学識と技術を体系的に修得することができるよう、教育課程を「共通科目」、「専門科目」、「課題研究」の3つで構成し、履修年次をそれぞれ1年次、1～3年次、3～4年次とする。【次頁の(別表)を参照】

また、専門科目のうち所属するコースに含まれる2つの科目群のどちらかを主科目として選択する。

修了に必要な単位数は、共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。共通科目は必修とし、課題研究は各自の研究テーマの研究及び博士論文作成過程を単位化したものとする。専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。申請により、他研究科で開講する科目の履修を最大4単位認定することができる。

(別表)

コース名	1年次	1・2年次	2・3年次		3・4年次			
	必修	選択必修	選択必修	選択	必修			
基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	共通科目 医科学概論 医科学特論 希少糖科学特論 研究・生命倫理 6単位	専門科目 主科目 ライフサイエンス科目群 8単位 または、	専門科目 副科目 主科目以外の 科目群より 4単位	専門科目 全ての 開講科目 から選択 4単位 以上	課題研究 8単位			
高度医療人育成コース		専門科目 主科目 臨床医・メディカルスタッフ 養成科目群 8単位 または、				専門科目 主科目 がんプロフェッショナル 養成科目群 8単位	学位論文審査・発表会	
計30単位		6単位				8単位		8単位以上

【養成する人材毎のコース選択と専門科目の履修方法】

養成する人材ごとのコース選択と専門科目の履修方法は下表のとおりである。ただし、共通科目6単位は養成する人材に関わらず必修である。また、課題研究8単位は、養成する人材に相応しいテーマの研究及び博士論文作成を通じて履修する。

養成する人材	コース選択	専門科目の履修方法
基礎医学研究者・生命科学研究者	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	「ライフサイエンス科目群」（主科目）から8単位以上、副科目*から4単位以上、計16単位以上修得する。
橋渡し研究者	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	「トランスレーショナルリサーチ科目群」（主科目）から8単位以上、副科目*から4単位以上、計16単位以上修得する。
臨床医学研究者	基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース	「ライフサイエンス科目群」または「トランスレーショナルリサーチ科目群」のいずれかひとつを主科目として8単位以上、副科目*から4単位以上、計16単位以上修得する。
地域特性に適応した医療人	高度医療人育成コース	「臨床医・メディカルスタッフ養成科目群」（主科目）から8単位以上、副科目*から4単位以上、計16単位以上修得する。
がん診療の主体となる医療人	高度医療人育成コース	「がんプロフェッショナル養成科目群」（主科目）から8単位以上、副科目*から4単位以上、計16単位以上修得する。

*副科目は主科目以外の科目群を指し、コースを越えた科目群を含む。

(5) 共通科目

1 専攻にしたことを生かして、全学生に共通して必要な基盤的研究能力を養成し、確固たる倫理観を教育するとともに、幅広い視野と知識を身につけさせるため、共通科目4科目の履修を必修とする。「医科学概論」では、実験動物学、医療情報学、臨床薬理学、プレゼンテーション方法論、統計学、英語論文作成法など、全ての研究者に必要な基本的な素養を身につけさせる。「医科学特論」では、医学研究に必要な研究ストラテジーや研究方法・手技を修得させる。「希少糖科学特論」では、本学の特徴である希少糖科学について総合的に習得させるため、本学での希少糖開発の経緯から基本特性、代謝、バイオ・医学分野での希少糖の応用など希少糖研究の基礎知識を修得させる。「研究・生命倫理」では、研究倫理・生命医療倫理教育により研究者一人一人が崇高な倫理観を持ち公正な研究活動を行える能力を養成する。

なお、講義及び演習は、主として本学大学院医学系研究科全担当教員が行うものとする。

共通科目	
医科学概論	臨床薬理学、臨床統計、医療情報学の基礎的な内容、英語論文作成と英語でのプレゼンテーション
医科学特論	研究ストラテジー講義、基礎研究・橋渡し研究・臨床研究の演習及び実習
希少糖科学特論	香川大学で独自の・学際的研究を展開している希少糖研究の基礎知識の習得
研究・生命倫理	生命科学・医学研究及び論文作成に関する倫理教育（CITI Japanの活用及び倫理委員会の教育訓練含む）

(注) 朱書き科目は、改組に伴い新設する科目である。

(6) 専門科目

今回の改組にあたり、現行の3専攻の選択科目(138科目)を学生にとって大学院修了後の進路を見据えるうえでより分かり易い4つの科目群(「ライフサイエンス科目群」、「トランスレーショナルリサーチ科目群」、「臨床医・メディカルスタッフ養成科目群」及び「がんプロフェッショナル養成科目群」)に再編・集約すると共に新たな科目を設けて、118科目とした。

- ① 「ライフサイエンス科目群」では、独創的な研究活動を行うための生命科学の先端的な知識と技術を修得し、応用する知力を養う科目を配置した。
- ② 「トランスレーショナルリサーチ科目群」では、本学で実施している橋渡し研究のプロジェクトに関する科目が含まれている(iPS細胞の応用、骨軟部腫瘍研究の臨床応用、分子イメージングの臨床応用、動脈硬化症への遺伝子治療など)。更に、希少糖研究の臨床応用など臨床研究を学ぶことにより、基礎研究の研究成果を臨床医学に応用するための技術・知識を養う科目を配置した。
- ③ 「臨床医・メディカルスタッフ養成科目群」では、糖尿病に代表される地域特有の疾病に関する最新の医学や地域の医療に関する情報を学び、医療現場で生じる課題に対応できる高度な医療人や専門の医学領域において、専門医として必要な医療知識と技術を修得するための科目を配置した。
- ④ 「がんプロフェッショナル養成科目群」では、がん診療・臨床研究の基礎となる「共通コアカリキュラム」及びがん診療・臨床研究において専門分野での職種を問わず知識や技術を養う「がん専門共通科目」及び「がん専門選択科目」を配置した。

(7) 課題研究

課題研究は、主・副指導教員の指導下で、研究に必要とされる専門分野の知識及び研究手法を修得させ、論文作成指導を行うことで、実践的な研究能力を育成する。

課題研究				
希少糖科学	神経機能形態学	組織細胞生物学	分子神経生物学	細胞情報生理学
自律機能生理学	薬理学	生化学	医用化学	分子細胞機能学
医用物理学	腫瘍病理学	炎症病理学	免疫学	国際医動物学
分子微生物学	衛生学	公衆衛生学	法医学	医学教育学
遺伝子学	分子構造解析学	実験動物学	糖鎖機能解析学	内分泌代謝内科学
血液内科学	膠原病・リウマチ内科学	呼吸器内科学	循環器内科学	腎臓内科学
抗加齢血管内科学	消化器内科学	神経内科学	皮膚科学	精神神経医学
小児科学	周産期学婦人科学	小児成育外科学	心臓血管外科学	消化器外科学
乳腺内分泌外科学	呼吸器外科学	整形外科学	形成外科学	泌尿器・副腎・腎移植外科学
脳神経外科学	眼科学	耳鼻咽喉科学	頭頸部外科学	放射線診断学
麻酔学	救急災害医学	歯科口腔外科学	臨床腫瘍学	総合内科学
放射線治療学	医学情報学	病理診断学	薬学	がん薬物療法
がん緩和ケア	腫瘍外科学	がん放射線治療		

(注) **赤書き科目**は、改組に伴い新設する科目である。

(8) 特色ある取り組み

① 希少糖研究者の育成

香川大学のミッションである希少糖研究を推進するため、希少糖研究特別枠を設け、希少糖研究に従事する研究者の確保と育成を図る。共通科目の希少糖科学特論での希少糖開発の経緯、特性、代謝などの基本的知識から、医学への応用の可能性についての講義を行う。専門科目では、ライフサイエンス科目群の「希少糖の機能」、トランスレーショナルリサーチ科目群の「希少糖と生活習慣病」、「生活習慣病診断・治療の前臨床開発」、「糖鎖情報と臨床応用等」、臨床医・メディカルスタッフ育成科目群では、「希少糖医学」、「糖尿病学」、「生活習慣病学」等の科目を履修し、希少糖を研究テーマとする課題研究を行うことで生活習慣病の予防・治療に向けた研究開発等を行う橋渡し研究者をはじめ、バイオ分野から医学分野にまたがる希少糖基礎研究者・臨床研究者を養成する。

② 橋渡し研究者の育成

橋渡し研究者を育成するために、共通科目(必修)の「医科学特論」の中で橋渡し研究に関する講義を行なうのに加えて、専門科目として「トランスレーショナルリサーチ科目群」を37科目開講する。その中には、現在本学で取り組んでいる橋渡し研究のプロジェクトに関する科目(iPS細胞の応用、骨軟部腫瘍研究の臨床応用、分子イメージングの臨床応用、動脈硬化症への遺伝子治療など)が含まれている。橋渡し研究を希望する学生は、「基礎臨床研究医・生命科学研究者育成コース」を選択のうえ、「トランスレーショナルリサーチ科目群」から8単位以上修得するとともに、博士論文の研究テーマとなる課題研究では、指導教員と相談のうえ、新たな橋渡し研究に挑戦することになる。

③ がん専門医療人の継続的育成

「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」として開講している特別コースを、正課の教育プログラム「がんプロフェッショナル養成科目群」として設置することにより、高度ながん専門医療を担うがん専門医療人を継続的に育成する。

④ 主・副指導教員制の導入

ライフサイエンス科目群担当教員(他研究科教員を含む)を1名以上含む「主・副指導教員制」を導入し、基礎系講座と臨床系講座の交流促進、研究の質の向上、基礎医学研究者の増加、他分野からの学生の受け入れ増を図る。

⑤ 他研究科・他大学との交流促進

農学研究科・工学研究科及び他大学(徳島文理大学等)との交流促進により、医学研究者の発掘と共同研究の推進を図る。

修了要件及び履修方法	授業期間等	
<p>修了要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究科に4年以上在籍し、所定の30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間については、優れた研究業績を上げた者は、当該課程に3年以上在学すれば足りるものとする。 <p>履修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通科目6単位、専門科目16単位以上、課題研究8単位の計30単位以上とする。専門科目は16単位以上のうち、主科目から8単位(主指導教員の開講する科目を1科目以上含む)、副科目(主科目以外のすべての科目の履修が可能で、コースを越えて履修可)から4単位、主科目・副科目に関わらず全ての開講科目から4単位以上を履修する。 	1 学年の学期区分	2 学期
	1 学期の授業期間	15週
	1 時限の授業時間	90分